

議会だより



主な内容

3月
定例会

- 各委員会 P2~5
- 議決結果一覧 P6
- 一般質問 P7~8

議会で給食試食会

予算委員会 (当初予算)

委員長：谷本 吉巳たにもと よしみ 副委員長：西川 侑哉にしかわ ゆういち

令和8年度 一般会計予算 4,450,000千円

項目	今年度予算	前年度予算	前年比	主な予算	今年度予算
議会費	65,637千円	70,125千円	4,488千円減	議会YouTube配信	832千円
総務費	1,050,971千円	1,046,622千円	4,349千円増	地方公共団体情報システム標準化事業	111,743千円
				文化センター解体事業	75,104千円
				土地開発公社補助金	45,958千円
				ふるさと応援寄附金促進費	50,000千円
民生労働費	1,322,410千円	1,296,382千円	26,628千円増	介護保険会計繰出金	167,918千円
				障害福祉サービス費	379,564千円
				国民健康保険会計繰出金	64,570千円
				後期高齢者医療会計繰出金	48,577千円
衛生費	395,063千円	386,096千円	8,967千円増	火葬場管理費	23,491千円
				ごみ処理費	109,646千円
農林商工費	110,109千円	152,372千円	42,263千円減	鳥獣害対策費	4,708千円
				観光費	17,790千円
				造林費	13,359千円
土木費	488,311千円	470,710千円	17,601千円増	道路維持費	148,583千円
				下水道会計繰出金	159,808千円
消防費	177,931千円	205,042千円	27,111千円減	奈良県広域消防組合分担金	146,736千円
教育費	435,362千円	405,048千円	30,314千円増	小学校費	32,261千円
				中学校費	31,308千円
				幼稚園費	60,055千円
災害復旧費	600千円	600千円	0	公共土木施設災害復旧費	500千円
公債費	319,960千円	320,563千円	603千円減	借金返済	319,960千円
諸支出金	58,646千円	51,440千円	7,206千円増	積立金	58,646千円
予備費	25,000千円	25,000千円	0	予備費	25,000千円



予算委員会 (当初予算)

委員長：谷本 ^{たにもと} ^{よしみ} 吉巳 副委員長：西川 ^{にしかわ} ^{ゆういち} 侑志

令和8年度 新規事業予算額



生成AI導入事業

200千円

防災拠点整備
基本構想及び
基本計画策定事業

9,460千円

自治会防犯灯(LED)
切替補助事業

4,500千円

移動系防災無線
更新委託料

7,091千円

地域おこし協力隊
募集事業

267千円

都市計画基礎
調査事業

5,932千円

福祉医療費
助成制度に係る
システム改修事業

2,165千円

家庭用生ごみ処理機器
購入費助成事業

330千円

高取町
地域福祉計画

6,894千円

こども誰でも
通園制度事業

432千円

旧高取幼稚園
園舎除去事業

62,000千円

部活動
地域展開事業

3,168千円

史跡与楽古墳群
保存活用計画
策定事業

68千円

高取城跡PR事業

1,285千円

健民グランド
日除け設置事業

1,900千円

予算委員会 (補正予算)

委員長：谷本 たにもと よしみ 吉巳 副委員長：西川 にしかわ ゆういち 侑杏

付託案件

- 報第 1 号 専決処分の報告について(令和7年12月18日専決)
令和 7 年度高取町一般会計補正予算(第6号)

歳入・歳出 14,436千円 増額補正



- 報第 2 号 専決処分の報告について(令和8年1月19日専決)
令和 7 年度高取町一般会計補正予算(第7号)

歳入・歳出 104,500千円 増額補正 繰越明許費 96,000千円

- 議第 2 号 令和 7 年度高取町一般会計補正予算(第 8 号)

歳入・歳出 45,361千円 増額補正 繰越明許費 146,900千円

- 議第 3 号 令和 7 年度高取町国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)

歳入・歳出 7,806千円 増額補正

- 議第 4 号 令和 7 年度高取町介護保険特別会計補正予算(第 3 号)

歳入・歳出 5,000千円 増額補正

- 議第 5 号 令和 7 年度高取町学校給食特別会計補正予算(第 1 号)

歳入・歳出 3,480千円 増額補正





暮らしに関わる課題を 委員会でチェック



総務経済建設委員会

委員長：野口 ^{のぐち} 勝也 ^{かつや} 副委員長：西川 ^{にしかわ} 侑吉 ^{ゆういち}

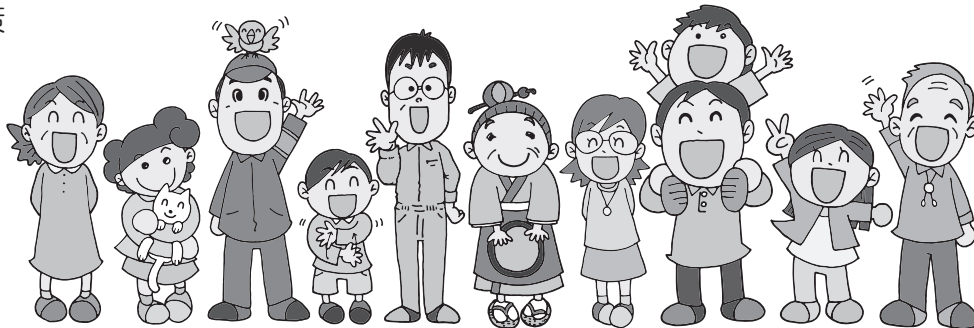
付託案件

- 役場の業務分掌や職員の給与の見直し
- 過疎地域持続的発展計画の変更や消防団員の公務災害補償の引上げ
- 総合戦略に関する附属機関の名称変更
- 国民健康保険税条例の改正（奈良県の保険料水準引き上げに伴う改正）
- 火入れに関する条例の一部改正（「林野火災注意報」「林野火災警報」の運用開始に伴う改正）



議論された事項

- 湧水に伴う水の確保
- ミサワホームとの包括連携協定のありかた
- 空き家対策

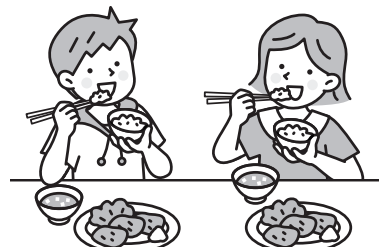


教育厚生委員会

委員長：新澤 ^{にいざわ} 明美 ^{あけみ} 副委員長：谷本 ^{たにもと} 吉巳 ^{よしみ}

報告事項

- 宅地造成及び特定盛土等規制に関する許可申請に係る対応
- 就労要件のない乳児等通園支援制度事業の認可に関する規則制定
- 未熟児養育医療券様式の変更
- 幼小中学校夏季休業日を8月31日までに変更
- 給食費の引き上げ（引き続き国・県費で無償化）
- 令和8年度教育委員会行政方針
- 市尾墓山古墳・宮塚古墳保存活用計画書策定



第1回 定例会 議決結果一覧

○賛成 ×反対 議長(森下)は表決には加わらない

議案		西川	谷本	野口	松本	森川	新澤(良)	森下	新澤(明)	採決
発 第1号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書の提出	×	○	○	○	○	○	—	×	原案可決
報 第1号	専決処分の報告について(令和7年12月18日専決)(令和7年度高取町一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	—	○	報告承認
報 第2号	専決処分の報告について(令和8年1月19日専決)(令和7年度高取町一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	—	○	報告承認
議 第1号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第2号	令和7年度高取町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第3号	令和7年度高取町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第4号	令和7年度高取町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第5号	令和7年度高取町学校給食特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第6号	令和8年度高取町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第7号	令和8年度高取町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	—	×	原案可決
議 第8号	令和8年度高取町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第9号	令和8年度高取町学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第10号	令和8年度高取町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	—	×	原案可決
議 第11号	令和8年度高取町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第12号	高取町過疎地域持続的発展計画の変更	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第13号	高取町課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第14号	高取町附属機関に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第15号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第16号	高取町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	—	×	原案可決
議 第17号	高取町火入れに関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
議 第18号	高取町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	—	○	原案可決
発 第2号	皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の法制化を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	—	×	原案可決

定例会



にしかわ ゆういち
西川 侑吉
議員

高取町の介護、この先どう守る!? ～担い手不足への備え～

問 高齢化が進む中、訪問介護を中心に担い手不足が深刻化しています。実際に、退院後に必要な在宅サービスにつながらず、家族による介助の中で事故が起き、再入院に至るケースもありました。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためにも、担い手不足への対応は喫緊の課題です。町はどのような対策を進めていますか。

答 町としては、介護サービスが必要な状態をできるだけ防ぎ、住み慣れた地域で元気に暮らし続けていただくよう、健康相談や元気サロン、100歳体操などの健康づくりや介護予防に取り組んでいます。あわせて、医療と介護の連携を進め、地域で高齢者を支える体制づくりを進めています。

問 他市町村では担い手確保の為、様々な取り組みを行っています。高取町でも他市町村の取り組みを生かしていく考えはありますか。

答 県の補助事業や就職フェアなどの周知を図るとともに、他自治体の事例も参考にしながら、本町に合った方法を検討します。

問 これからつくる次の介護保険の計画では、担い手確保をより具体的に位置づけていく考えはありますか。

答 本町に合った取り組みを見極めながら、今後の計画の中で検討を進めます。

〈提言〉
担い手不足は、在宅生活や高齢者の尊厳、町民負担に関わる切実な課題です。御所市の「ちよいボラメイ」のような生活支援の仕組みや、介護の魅力啓発も参考にしながら、次の計画に具体策を位置づけるよう求めました。

動画配信は
こちらから

3時間5分
あたり



たにもと よしみ
谷本 吉巳
議員

恒常的な一般財源である固定資産税と ふるさと応援寄付金を増やす施策は

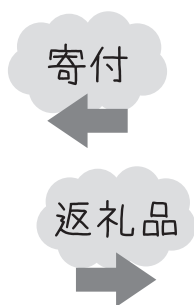
問 恒常的な一般財源の確保は本町財政の重要課題であり、固定資産税とふるさと応援寄付金の増収が最善の手段であると考えます。これまで町長は企業誘致による税収確保と寄付金確保の必要性を示しておられる。まず、固定資産税については、企業誘致を通じて土地・建物・償却資産の課税対象を拡大し、持続的な増収を図るための具体策を伺います。

答 企業誘致による課税対象資産の増加は、持続的な税収確保に有効であると認識しています。高取バイパス沿道に新たな工業ゾーンを都市計画マスタープランに位置づけ、県の提案基準を活用して開発環境を整備し、企業立地を促進します。あわせて、リーフレット作成やセミナー参加により本町の魅力を発信します。土地所有者や地域住民との対話を重ね、理解と協力を得ながら、産業振興と地域活力の向上に取り組ん

でまいります。

問 ふるさと応援寄付金については、一定の成果があるものの制度制約も踏まえ、返礼品開発や情報発信、寄付者との関係構築などによる増収策について伺います。

答 奈良県の寄付額は16位ながら、実質収支では上位と推測されます。制度改革により競争が激化する中、本町では返礼品の発掘や事業者間の連携によるコラボ商品の開発を進めてきました。今後も農産物や加工品などの強みを磨くとともに、写真や説明文の質を高め、町の魅力や課題、ストーリーを発信することで応援寄付金の増収を図ります。



動画配信は
こちらから

2時間21分
あたり



のぐち かつや
野口 勝也
議員

・「壺阪山駅」の整備計画について
・赤坂池の有効利用について



問 町の玄関口である「壺阪山駅」の整備計画について。NHK大河ドラマ「豊臣兄弟」にちなんだ観光振興は、本町にとって好機であります。この機会を最大限に活かした長期的な観光戦略があれば、お示し下さい。

答 壺阪山駅前には町民・観光の方にとって重要な拠点と認識している。駅舎を有効利用できるよう近鉄との協議中である。昨年購入した駅前の土地の利用についても、検討中である。

土佐街道の石畳の補修整備、トイレの整備を徐々にこなっていく。

動画配信は
こちらから

1時間41分
あたり

問 赤坂池の有効利用について。

- ・大型観光バスの発着が可能な拠点整備
- ・物産販売、飲食機能の充実
- ・観光情報発信拠点の設置
- ・災害時の防災拠点機能などを備えた

「道の駅」を作るのはどうか。

答 現在は災害時の避難場所など、防災拠点として位置づけている。「道の駅」は国道沿いに作ることでされているため、さびしい。

現在本町は、高取幼稚園の解体、文化センター解体後の(仮称)防災センターの建設、などの多額の資金が必要な事業をかかえている。今の財政状況、また将来の負担を抑える為にも、大きな事業を計画することは難しい。



にいざわ あけみ
新澤 明美
議員

フードドライブ・移動手段の拡充を

問 ①日常的にフードドライブの実施を

答 高取町社会福祉協議会では、生活困窮者支援として、食品や日用品を配布しています。前年度は十数件です。日常的にフードドライブを実施して、寄付食品配布の対象者を子育て家庭等にも広げてはどうでしょうか。それは、フードロス削減にも繋がります。

檀原市では、フードボックスを市役所や市内ファミリーマートに設置し、必要な家庭等に、寄付された食品を配布しています。

答 町としては、今後も、共同募金、住民からの寄付、県社協の協力による食品を活用する現在の方法で、社協にお願ひしていきたくと考えています。

②高齢者、観光客等の移動手段の充実を

問 町内の1民間タクシーの撤退は、とりわけ町内の通院に影響を与えています。さらにドアツードア(自宅から目的地まで)、

動画配信は
こちらから

56分あたり

安い運賃で移動できる方法も望まれます。また観光客の町内の移動手段も必要です。公共交通検討委員会を立ち上げて協議をしてはどうでしょうか。

国土交通省は、マイカーによる有償運送、公共ライドシェアをすすめており、大和高田市や宇陀地域ですでに実証実験が行われています。

答 交通空白地帯であることは認識しています。しかし、近鉄・バスもあり、壺阪山駅前に新しい民間タクシーも配車されるようになりました。本町の財政規模から、現在のタクシー券の配布と公用車の貸し出しに追加して、公共ライドシェアを導入するのは難しいと考えています。